

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【公表番号】特表2019-536733(P2019-536733A)

【公表日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2019-505177(P2019-505177)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/166 (2006.01)

A 6 1 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/341 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 8/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 31/085 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/4164 (2006.01)

A 6 1 K 31/315 (2006.01)

A 6 1 K 8/58 (2006.01)

A 6 1 Q 9/02 (2006.01)

A 6 1 Q 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 2 3 L 3/3499 (2006.01)

A 2 3 L 3/3526 (2006.01)

C 1 1 D 3/48 (2006.01)

C 0 7 D 307/68 (2006.01)

C 0 7 D 233/60 (2006.01)

C 0 7 D 213/74 (2006.01)

C 0 7 D 275/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/166

A 6 1 K 31/235
A 6 1 K 8/37
A 6 1 K 47/12
A 6 1 K 31/341
A 6 1 K 8/49
A 6 1 K 47/22
A 6 1 K 8/42
A 6 1 K 47/16
A 6 1 K 8/41
A 6 1 K 47/18
A 6 1 Q 19/10
A 6 1 Q 5/02
A 6 1 Q 5/12
A 6 1 K 8/06
A 6 1 Q 15/00
A 6 1 P 17/10
A 6 1 Q 19/00
A 6 1 K 8/34
A 6 1 K 47/10
A 6 1 K 47/14
A 6 1 K 31/085
A 6 1 P 31/10
A 6 1 K 31/4164
A 6 1 K 31/315
A 6 1 K 8/58
A 6 1 Q 9/02
A 6 1 Q 9/04
A 6 1 P 17/02
A 6 1 K 31/44
A 6 1 Q 17/04
A 6 1 Q 11/00
A 2 3 L 3/3499
A 2 3 L 3/3526
C 1 1 D 3/48
C 0 7 D 307/68
C 0 7 D 233/60 1 0 4
C 0 7 D 213/74
C 0 7 D 275/02

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年11月24日(2020.11.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0183

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0183】

表IIIに提供される処方であるが、「安息香酸-3-ヒドロキシプロピルエステル」の代わりに、以下を含有してもよい：

a) フロン酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

b) アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

c) N - メチルサリチルアミド

【表 2 1】

表 I V

身体洗浄のための化粧用ローション (重量%による)

成分	INCI名	量
Lumerol K 28	スルホコハク酸ラウレス 2 Na、ココミドプロピルベタイン、ラウリル硫酸マグネシウム	33.0
Amphotensid B 4	ココミドプロピルベタイン	10.0
Perlglanzmittel GM 4055	MIPAパレス 25 硫酸塩、ステアリン酸グリコール	4.0
塩化ナトリウム	塩化ナトリウム	2.0
アボカド油	Persea Gratissima (アボカド) 油	3.0
水	水	100に調整
香油 P 1、P 2、P 3 または P 4	香料	0.5
Euxyl (登録商標) K 7 2 7	フェノキシエタノール、メチルジブロモグルタロニトリル、イソチアゾリノン	0.3
式 (I) の物質	安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル	0.6

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 2 0 5】

表 X X V に提供される処方であるが、「安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル」の代わりに、以下を含有してもよい：

a) フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

b) アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

c) N - メチルサリチルアミド

【表 4 3】

表 XXVI

ボディローション (重量%による)

成分	量
セテアリアルアルコール	2.00
イソノナン酸エチルヘキシル	5.00
エチルヘキサン酸セテアリアル、ミリスチン酸イソプロピル	3.00
クエン酸オレイン酸グリセリル、トリ (カプリル/カプリン酸) グリセリル	4.00
水	79.50
カルボマー	0.30
安息香酸ナトリウム	0.100
プロピレングリコール	5.00
水酸化ナトリウム 30%溶液	0.30
香油 P 1、P 2、P 3 または P 4	0.30
トリエチレングリコール、イミダゾリジニル尿素、メチルパラベン、プロピルパラベン、デヒドロ酢酸	0.30
安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル	0.20

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0207

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0207】

表 XXVII に提供される処方であるが、「安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル」の代わりに、以下を含有してもよい：

- a) フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
- b) アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
- c) N - メチルサリチルアミド

【表 45 - 1】

表 XXVII I
クリーム (重量%による)

成分	INCI	量
Dracorin (登録商標) CE	クエン酸ステアリン酸グリセリル	1.00
Lanette (登録商標) O	セテアリルアルコール	2.00
Cutina (登録商標) G MS-V	ステアリン酸グリセリル	1.00
Tegosoft (登録商標) MM	ミリスチン酸ミリスチル	1.00
Xiameter (登録商標) PMX-0246. Cyc losiloxane	シクロヘキサシロキサン (および) シクロ ペンタシロキサン	0.50
Dragoxat (登録商標) 89	イソノナン酸エチルヘキシル	2.00
PCL-Liquid 100	エチルヘキサン酸セテアリル	4.00
中性油	(カプリル/カプリン酸) トリグリセリド	4.00
Carbopol (登録商標) Ultrez 21	アクリレート/C10-C30アルキルア クリレートクロスポリマー	0.20
Keltrol (登録商標) CG-T	キサンタンガム	0.10

【表 45 - 2】

水	水	100に調整
Glycerol 99.5 P.	グリセロール	3.00
Propylene Glyc ol -1.299 P G C	プロピレングリコール	2.00
安息香酸ナトリウム	安息香酸ナトリウム	0.10
水酸化ナトリウム10%溶液	水酸化ナトリウム	0.50
香油P1、P2、P3またはP 4	香料	0.30
Euxyl (登録商標) K7 02	デヒドロ酢酸、安息香酸、フェノキシエタ ノール、ポリアミノプロピルビグアニド、 エチルヘキシルグリセリン	0.30
式 (I) の物質	安息香酸-3-ヒドロキシプロピルエステ ル	0.70

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

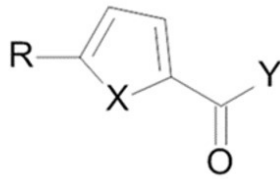
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) :

【化 1】



(I)

(式中、

(a) XはCH=CHまたはCZ₁=CZ₂を表し、

Z₁がHである場合、Z₂は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表す、および

Z₂がHである場合、Z₁は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表し、

YはNH₂、NHMe、NMe₂、NEt、およびO-(CH₂)_n-OHからなる群から選択される基を表し、

nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NEtおよびNEt₂からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) XはOを表し、

Yは、NH₂、NHMe、NMe₂、NEt、O-(CH₂)_n-OHおよびOMeからなる群から選択される基を表し、

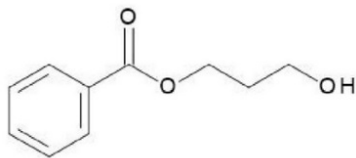
nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NEtまたはNEt₂を表す)

の化合物またはその(薬学的)塩の、抗真菌剤の製造における使用であって、前記式(I)の化合物は、以下の式:

・安息香酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

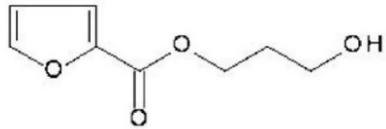
【化 2】



(Ia)

・フロン酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

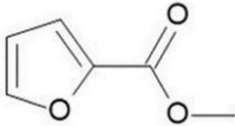
【化 3】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

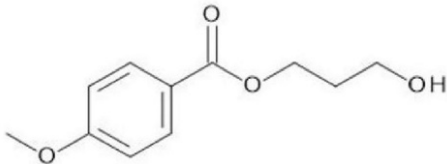
【化 4】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

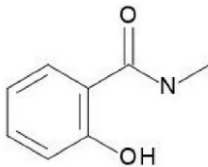
【化 5】



(I f)

・N - メチルサリチルアミド

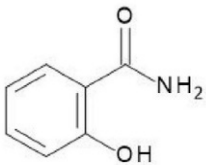
【化 6】



(I h)

・サリチルアミド

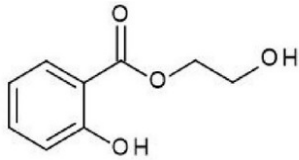
【化 7】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

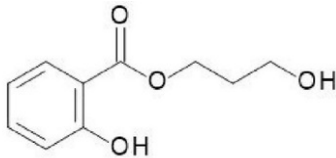
【化 8】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 9】



(I k)

からなる群から選択される、使用。

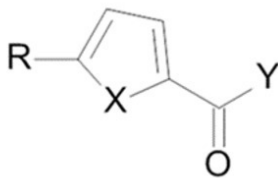
【請求項 2】

前記剤は、*Candida albicans* に対して活性である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

(a) 式 (I) :

【化 10】



(I)

(式中、

(a) X は $\text{CH}=\text{CH}$ または $\text{CZ}_1=\text{CZ}_2$ を表し、
Z₁ が H である場合、Z₂ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt
からなる群から選択される基を表す、および

Z₂ が H である場合、Z₁ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt
からなる群から選択される基を表し、

Y は NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、および $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ からなる群
から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt
および NEt₂ からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) X は O を表し、

Y は、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、 $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ および OMe から
なる群から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

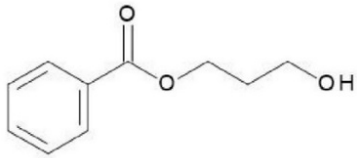
R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt

または NEt_2 を表す)

の芳香族エステルまたはアミド誘導体から選択される少なくとも1つの第一剤であって、
前記式 (I) の化合物は以下の式：

・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

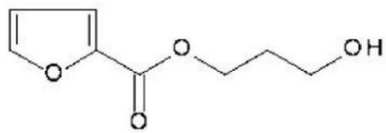
【化 1 1】



(I a)

・フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

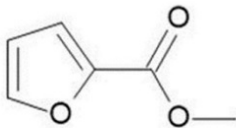
【化 1 2】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

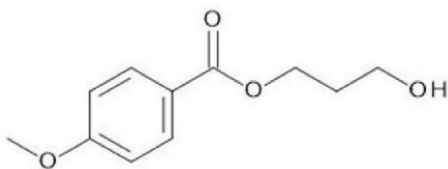
【化 1 3】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

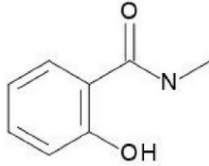
【化 1 4】



(I f)

・N - メチルサリチルアミド

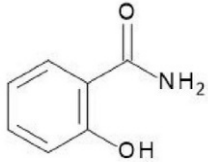
【化 1 5】



(I h)

・サリチルアミド

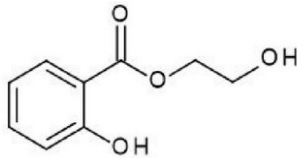
【化 1 6】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

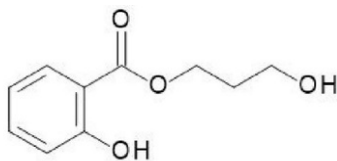
【化 1 7】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 1 8】



(I k)

からなる群から選択される、第一剤、および

(b) 安息香酸およびパラヒドロキシ安息香酸、それらのエステルおよび塩、安息香酸ベンジル、プロピオン酸およびその塩、サリチル酸およびその塩、2, 4 - ヘキサジエン酸 (ソルビン酸) およびその塩、レプリン酸とその塩、アニス酸とその塩、ペリリン酸とその塩、ケイ皮酸とその塩、ホルムアルデヒドおよびパラホルムアルデヒド、4 - ヒドロキシベンズアルデヒド、オルト - 、メタ - およびパラ - アニスアルデヒド、ピペロニルアルデヒド、シナムアルデヒド、シナムアルコール、2 - ヒドロキシビフェニルエーテルおよびその塩、2 - 亜鉛 - スルフィドピリジン - N - オキシド、無機亜硫酸塩および亜硫酸水素塩、ヨウ素酸ナトリウム、クロロブタノール、4 - エチル水銀 (I I) - 5 - アミノ - 1, 3 - ビス (2 - ヒドロキシ安息香酸)、その塩およびエステル、デヒドロ酢酸、ギ酸、1, 6 - ビス (4 - アミジノ - 2 - プロモフェノキシ) - n - ヘキサンおよびその塩、エチル水銀 (I I) - チオサリチル酸のナトリウム塩、フェニル水銀とその塩、

10 - ウンデシレン酸とその塩、5 - アミノ - 1, 3 - ビス (2 - エチルヘキシル) - 5 - メチル - ヘキサヒドロピリミジン、5 - ブロモ - 5 - ニトロ - 1, 3 - ジオキサン、2 - ブロモ - 2 - ニトロ - 1, 3 - プロパンジオール、2, 4 - ジクロロベンジルアルコール、N - (4 - クロロフェニル) - N' - (3, 4 - ジクロロフェニル) - ウレア、4 - クロロ - m - クレゾール、2, 4, 4' - トリクロロ - 2' - ヒドロキシ - ジフェニルエーテル、4 - クロロ - 3, 5 - ジメチルフェノール、1, 1' - メチレン - ビス (3 - (1 - ヒドロキシメチル - 2, 4 - ジイミダゾリジン - 5 - イル)ウレア)、ポリ (ヘキサメチレンジグアニド) 塩酸塩、(ベンジルオキシメトキシ) - メタノールヘキサメチレンテトラミン、1 - (3 - クロロアリル) - 3, 5, 7 - トリアザ - 1 - アゾニア - アダマンタンクロリド、1 - (4 - クロロフェノキシ) - 1 - (1H - イミダゾール - 1 - イル) - 3, 3 - ジメチル - 2 - ブタノン、1, 3 - ビス - (ヒドロキシメチル) - 5, 5 - ジメチル - 2, 4 - イミダゾリジンジオン、1, 2 - ジブロモ - 2, 4 - ジシアノブタン、2, 2' - メチレン - ビス (6 - ブロモ - 4 - クロロフェノール)、プロモクロロフェン、5 - クロロ - 2 - メチル - 3 (2H) - イソチアゾリノンと2 - メチル - 3 (2H) - イソチアゾリノンと塩化マグネシウムと硝酸マグネシウムとの混合物、2 - オクチル - 2H - イソチアゾール - 3 - オン、1, 2 - ベンズイソチアゾール - 3 (2H) - オン、2 - ベンジル - 4 - クロロフェノール、3 - (4 - クロロフェノキシ) - 1, 2 - プロパンジオール (クロルフェネシン)、2 - クロロアセトアミド、クロルヘキシジン、クロルヘキシジンアセテート、クロルヘキシジングルコネート、塩酸クロルヘキシジン、N - アルキル (C₁₂ - C₂₂) トリメチルアンモニウムブロミドおよびクロリド、4, 4 - ジメチル - 1, 3 - オキサゾリジン、N - ヒドロキシメチル - N - (1, 3 - ジ (ヒドロキシメチル) - 2, 5 - ジオキソイミダゾリジン - 4 - イル) - N' - ヒドロキシ - メチルウレア、1, 6 - ビス (4 - アミジノ - フェノキシ) - n - ヘキサンおよびその塩、グルタルアルデヒド、5 - エチル - 1 - アザ - 3, 7 - ジオキサビシクロ (3.3.0) オクタン、3 - (4 - クロロフェノキシ) - 1, 2 - プロパンジオール、ヒアミン、アルキル - (C₈ - C₁₈) - ジメチル - ベンジル - アンモニウムクロリド、アルキル - (C₈ - C₁₈) - ジメチル - ベンジルアンモニウムブロミド、アルキル - (C₈ - C₁₈) - ジメチル - ベンジル - アンモニウムサッカリネート、ベンジルヘミホルマール、3 - ヨード - 2 - プロピニルブチルカルバメート、ヒドロキシメチルアミノ酢酸ナトリウムまたはヒドロキシメチルアミノ酢酸ナトリウム、イミダゾリジニルウレア、ジアゾリジニルウレア、ヒドロキシメチルグリシネートナトリウム、DMDMヒダントイン、トロポロン、(エチレンジオキシ)ジメタノール、2 - ブロモ - 2 - (プロモメチル)ペンタンジニトリル、N - (3 - アミノプロピル) - N - ドデシルプロパン - 1, 3 - ジアミン、, ' , " - トリメチル - 1, 3, 5 - トリアジン - 1, 3, 5 (2H, 4H, 6H) - トリエタノール、ピリジン - 2 - チオール - 1 - オキシド、ナトリウム塩、テトラヒドロ - 1, 3, 4, 6 - テトラキス (ヒドロキシメチル) イミダゾ [4, 5 - d] イミダゾール - 2, 5 (1H, 3H) - ジオン、1, 3 - ビス (ヒドロキシメチル) - 1 - (1, 3, 4 - トリス (ヒドロキシメチル) - 2, 5 - ジオキソイミダゾリジン - 4 - イル)ウレア (ジアゾリジニルウレア)、1, 3 - ビス (ヒドロキシメチル) - 5, 5 - ジメチルイミダゾリジン - 2, 4 - ジオン、3 - アセチル - 2 - ヒドロキシ - 6 - メチル - 4H - ピラン - 4 - オン、塩化セチルピリジウム、エチル - N - アルファ - ドデカノイル - L - アルギネート塩酸塩、カプリルヒドロキサム酸、ソルボヒドロキサム酸、およびそれらの混合物からなる群から選ばれる少なくとも1つの第二剤

および/または

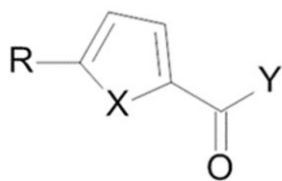
(c) 1, 3 - プロパンジオール、メチルプロパンジオール、1, 2 - ペンタンジオール、1, 2 - ヘキサジオール、1, 2 - オクタンジオール、エチルヘキシルグリセリン、グリセリルカプリレート、グリセリルカプレート、3 - フェニルプロパノール、2 - フェニルエタノール、2 - フェノキシエタノール、ベンジルアルコール、4 - イソプロピル - 3 - メチルフェノールおよび4 - ヒドロキシアセトフェノンからなる群から選択される少なくとも1つのヒドロキシル化合物

を含む、抗真菌混合物。

【請求項 4】

(a) 式 (I) :

【化 1 1】



(I)

(式中、

(a) XはCH=CHまたはCZ₁=CZ₂を表し、
Z₁がHである場合、Z₂は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEt
からなる群から選択される基を表す、および

Z₂がHである場合、Z₁は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEt
からなる群から選択される基を表し、

YはNH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、およびO-(CH₂)_n-OHからなる群
から選択される基を表し、

nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt
およびNEt₂からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) XはOを表し、

Yは、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、O-(CH₂)_n-OHおよびOMeか
らなる群から選択される基を表し、

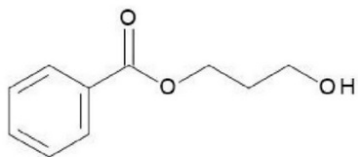
nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt
またはNEt₂を表す)

の芳香族エステルまたはアミド誘導体から選択される少なくとも1つの第一剤であって、
前記式(I)の化合物は以下の式：

・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

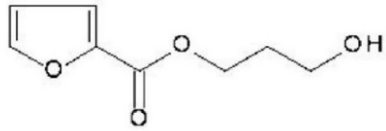
【化 1 2】



(I a)

・フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

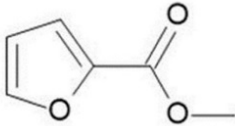
【化 1 3】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

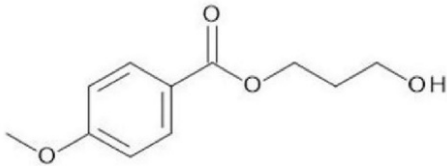
【化 1 4】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

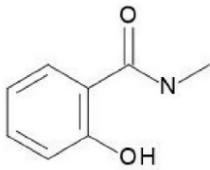
【化 1 5】



(I f)

・N - メチルサリチルアミド

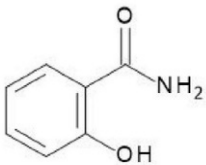
【化 1 6】



(I h)

・サリチルアミド

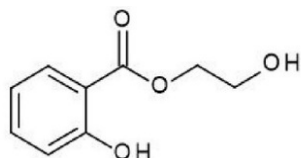
【化 1 7】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

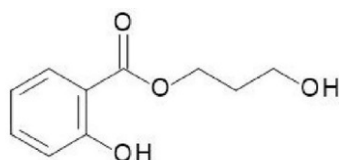
【化 18】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 19】



(I k)

からなる群から選択される、第一剤、および

(b) 4-ヒドロキシアセトフェノン、1,2-オクタジオール、1,2-デカンジオール、1,5-ペンタンジオール、1,6-ヘキサジオール、1,8-オクタジオール、1,2-デカンジオール、ヘキソキシ-プロパン-1,2-ジオール、ヘプトキシ-プロパン-1,2-ジオール、オクトキシ-プロパン-1,2-ジオール、3-フェノキシ-プロパン-1,2-ジオール、3-ベンジルオキシ-プロパン-1,2-ジオール、3-フェニルエチルオキシ-プロパン-1,2-ジオール、3-フェニルプロピルオキシ-プロパン-1,2-ジオール、3-メチルベンジルオキシ-プロパン-1,2-ジオール、グリセリルカプリレート、グリセリルカプレート、グリセリルラウレート、ソルビタンカプリレート、プロピルラクテート、ブチルラクテート、ペンチルラクテート、イソペンチルラクテート、シス-ヘキサ-3-エニルラクテート、ベンジルラクテート、トリクロサン、クリンパゾール、オクトピロックス(1-ヒドロキシ-4-メチル-6-(2,4,4-トリメチルペンチル)-2(1H)-ピリドン、2-アミノエタノール)、キトサン、ファルネソール、2-ブチルオクタン酸、2-ベンジルヘプタン-1-オール、グリセロールモノラウレート、ビス(2-ピリジルチオ)亜鉛1,1'-ジオキシド、N,N'-(デカン-1,10-ジイルジピリジン-1-イル-4-イリデン)-ジオクタン-1-アミン二塩酸塩(オクテニジン二塩酸塩)、チモール、オイゲノール、4-イソプロピル-3-メチルフェノール、ベンジルアルコール、4-メチルベンジルアルコール、2-フェニルエチルアルコール、1-フェノキシ-プロパン-2-オール、3-フェノキシプロパノール、およびベンジルオキシメタノールからなる群から選択される少なくとも1つの第二剤、

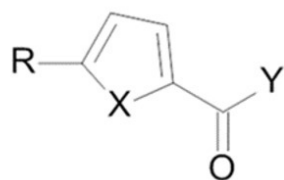
および/または

(c) 1,3-プロパンジオール、メチルプロパンジオール、1,2-ペンタンジオール、1,2-ヘキサジオール、1,2-オクタジオール、エチルヘキシルグリセリン、3-フェニルプロパノール、2-フェニルエタノールおよび2-フェノキシエタノールからなる群から選択される少なくとも1つのヒドロキシル化合物を含む、抗真菌混合物。

【請求項5】

有効量の少なくとも1つの式(I)：

【化 2 0】



(I)

(式中、

(a) XはCH=CHまたはCZ₁=CZ₂を表し、

Z₁がHである場合、Z₂は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表す、および

Z₂がHである場合、Z₁は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表し、

YはNH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、およびO-(CH₂)_n-OHからなる群から選択される基を表し、

nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEtおよびNEt₂からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) XはOを表し、

Yは、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、O-(CH₂)_n-OHおよびOMeからなる群から選択される基を表し、

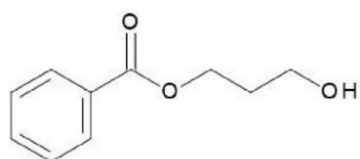
nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEtまたはNEt₂を表す)

の化合物もしくはその(薬学的)塩であって、前記式(I)の化合物は以下の式：

・安息香酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

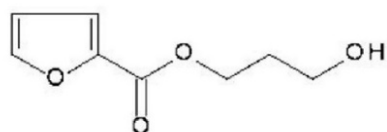
【化 1 2】



(I a)

・フロン酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

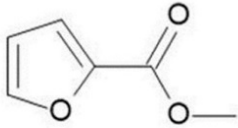
【化 1 3】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

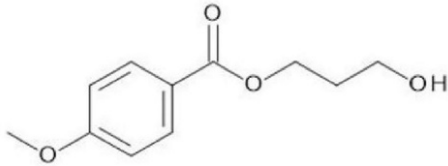
【化 1 4】



(I e)

・ アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

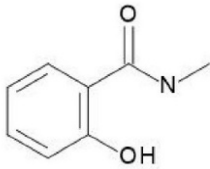
【化 1 5】



(I f)

・ N - メチルサリチルアミド

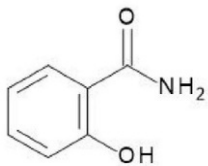
【化 1 6】



(I h)

・ サリチルアミド

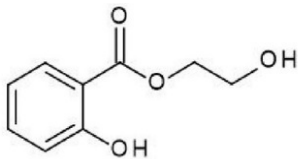
【化 1 7】



(I i)

・ サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

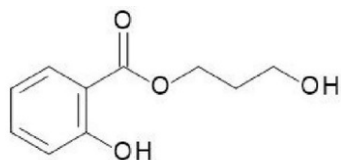
【化 1 8】



(I j)

・ サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 19】



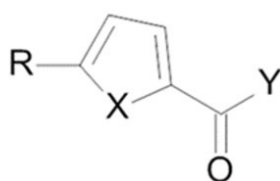
(I k)

からなる群から選択される、化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項 3 もしくは 4 に記載の混合物を含むパーソナルケア組成物。

【請求項 6】

有効量の少なくとも 1 つの式 (I) :

【化 20】



(I)

(式中、

(a) X は $\text{CH}=\text{CH}$ または $\text{CZ}_1=\text{CZ}_2$ を表し、
Z₁ が H である場合、Z₂ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表す、および

Z₂ が H である場合、Z₁ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表し、

Y は NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、および $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ からなる群から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt および NEt₂ からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) X は O を表し、

Y は、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、 $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ および OMe からなる群から選択される基を表し、

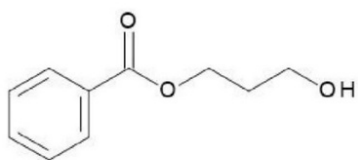
n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt または NEt₂ を表す)

の化合物もしくはその（薬学的）塩であって、前記式 (I) の化合物は以下の式：

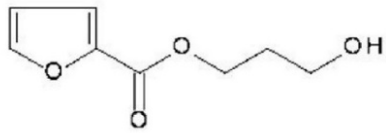
・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

【化 21】



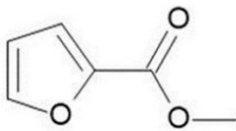
(I a)

・フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
【化 2 2】



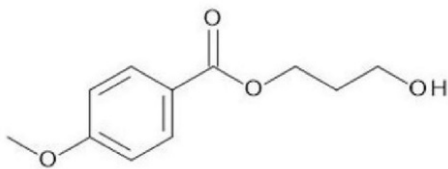
(I e)

・フロン酸メチルエステル
【化 2 3】



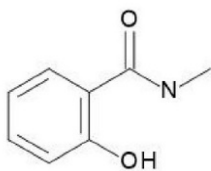
(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
【化 2 4】



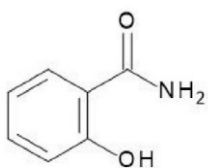
(I f)

・N - メチルサリチルアミド
【化 2 5】



(I h)

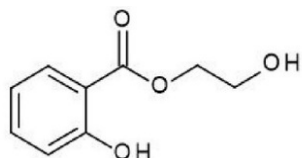
・サリチルアミド
【化 2 6】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

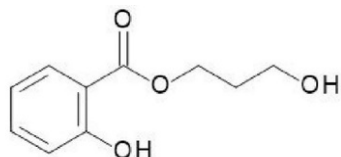
【化 2 7】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 2 8】



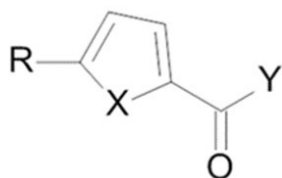
(I k)

からなる群から選択される、化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項 3 もしくは 4 に記載の混合物を含む洗剤組成物。

【請求項 7】

有効量の少なくとも 1 つの式 (I) :

【化 2 9】



(I)

(式中、

(a) X は $\text{CH}=\text{CH}$ または $\text{CZ}_1=\text{CZ}_2$ を表し、
Z₁ が H である場合、Z₂ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表す、および

Z₂ が H である場合、Z₁ は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表し、

Y は NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、および $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ からなる群から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt および NEt₂ からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) X は O を表し、

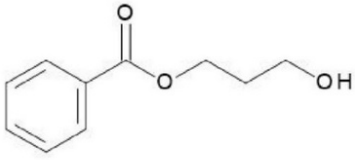
Y は、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、 $\text{O}-(\text{CH}_2)_n-\text{OH}$ および OMe からなる群から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt または NEt₂ を表す)

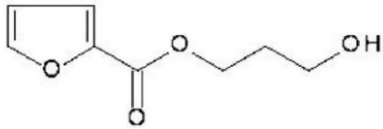
の化合物もしくはその（薬学的）塩であって、前記式 (I) の化合物は以下の式：

・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
【化 3 0】



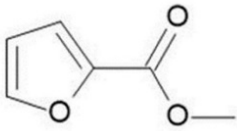
(I a)

・フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
【化 3 1】



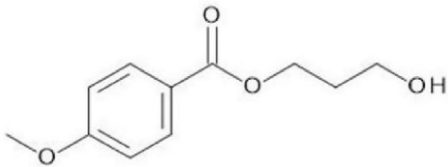
(I c)

・フロン酸メチルエステル
【化 3 2】



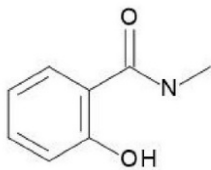
(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル
【化 3 3】



(I f)

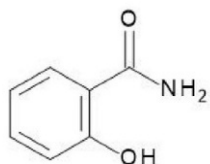
・N - メチルサリチルアミド
【化 3 4】



(I h)

・サリチルアミド

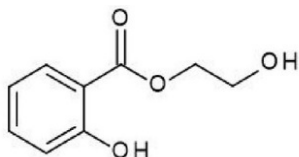
【化 3 5】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

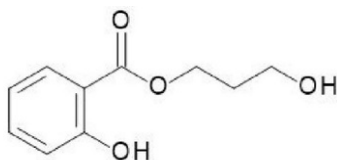
【化 3 6】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 3 7】



(I k)

からなる群から選択される、化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項 3 もしくは 4 に記載の混合物を含む食品組成物。

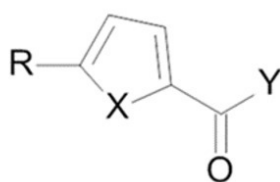
【請求項 8】

少なくとも 1 つの式 (I) の化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項 3 もしくは 4 に記載の混合物を、全組成物に基づいて計算して約 0.01 ~ 約 10 重量%の量で含む、請求項 5 に記載のパーソナルケア組成物、請求項 6 に記載の洗剤組成物または請求項 7 に記載の食品組成物。

【請求項 9】

水と、界面活性剤、乳化剤、増粘剤、および油からなる群から選択される少なくとも 1 つの薬剤とを含む局所適用のための化粧品組成物であって、前記組成物は少なくとも 1 つの式 (I) :

【化 3 8】



(I)

(式中、

(a) X は $\text{CH}=\text{CH}$ または $\text{CZ}_1=\text{CZ}_2$ を表し、

Z 1 が H である場合、Z 2 は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表す、および

Z 2 が H である場合、Z 1 は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMe および OEt からなる群から選択される基を表し、

Y は NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、および O-(CH₂)_n-OH からなる群から選択される基を表し、

n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt および NEt₂ からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) X は O を表し、

Y は、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、O-(CH₂)_n-OH および OMe からなる群から選択される基を表し、

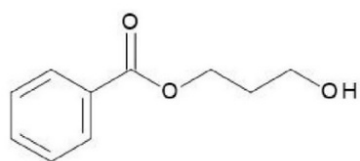
n は 2 ~ 5 であり、かつ

R は、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt または NEt₂ を表す)

の化合物もしくはその(薬学的)塩であって、前記式(I)の化合物は以下の式：

・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

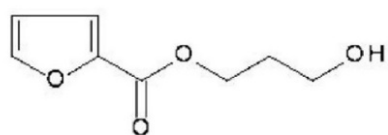
【化 3 0】



(I a)

・フロノン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

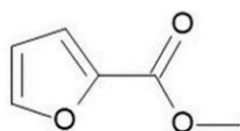
【化 3 1】



(I c)

・フロノン酸メチルエステル

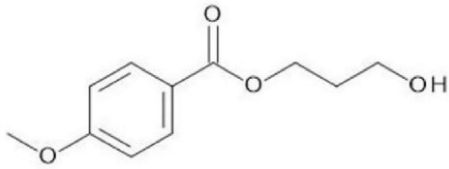
【化 3 2】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

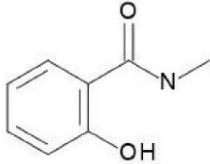
【化 3 3】



(I f)

・ N - メチルサリチルアミド

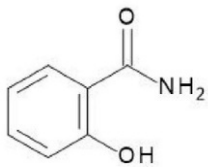
【化 3 4】



(I h)

・ サリチルアミド

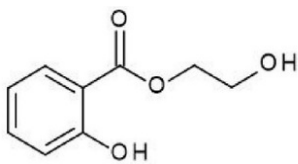
【化 3 5】



(I i)

・ サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

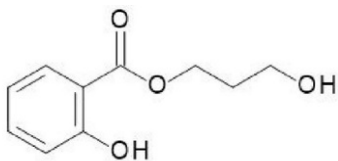
【化 3 6】



(I j)

・ サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 3 7】



(I k)

からなる群から選択される、化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項 3 もしくは 4 に記載の混合物を組成物の全重量に基づいて、0.01 ~ 10 重量%の量でさらに含む、

化粧品組成物。

【請求項 10】

シャンプー調製物、ヘアコンディショナー、O/W型エマルション、W/O型エマルションまたはゲルである、請求項9に記載の組成物。

【請求項 11】

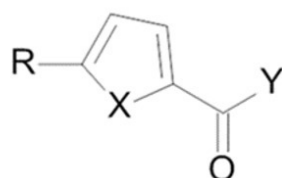
ヒトの皮膚、頭皮および/または毛髪に適用される局所用組成物である、請求項9または10に記載の組成物。

【請求項 12】

化粧品組成物、洗剤組成物または食品組成物の微生物腐敗を防止する方法であって、前記方法は、組成物の全重量に基づいて0.01~10重量%の少なくとも1つの式(I)

:

【化38】



(I)

(式中、

(a) XはCH=CHまたはCZ₁=CZ₂を表し、
Z₁がHである場合、Z₂は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEt
からなる群から選択される基を表す、および

Z₂がHである場合、Z₁は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEt
からなる群から選択される基を表し、

YはNH₂、NHMe、NMe₂、NEt、およびO-(CH₂)_n-OHからなる群
から選択される基を表し、

nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NEt
およびNEt₂からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) XはOを表し、

Yは、NH₂、NHMe、NMe₂、NEt、O-(CH₂)_n-OHおよびOMeか
らなる群から選択される基を表し、

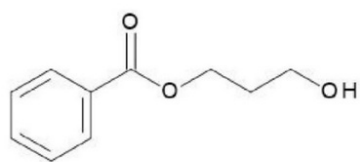
nは2~5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NEt
またはNEt₂を表す)

の化合物もしくはその(薬学的)塩であって、前記式(I)の化合物は以下の式:

・安息香酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

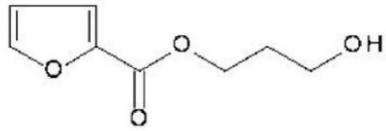
【化39】



(Ia)

・フロン酸-3-ヒドロキシプロピルエステル

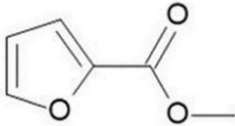
【化 4 0】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

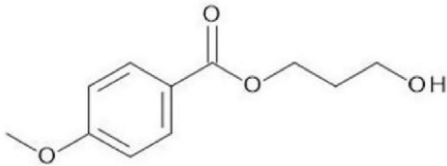
【化 4 1】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

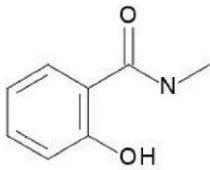
【化 4 2】



(I f)

・N - メチルサリチルアミド

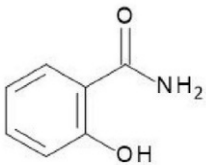
【化 4 3】



(I h)

・サリチルアミド

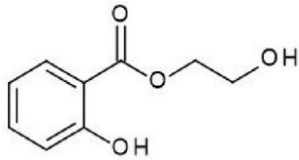
【化 4 4】



(I i)

・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

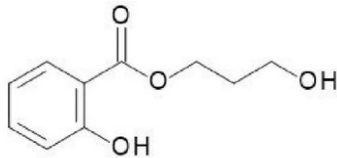
【化 4 5】



(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 4 6】



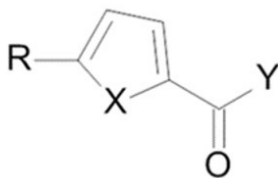
(I k)

からなる群から選択される、化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項3もしくは4に記載の混合物を前記組成物に添加することを包含する、方法。

【請求項 1 3】

少なくとも1つの式（I）：

【化 4 7】



(I)

(式中、

(a) XはCH=CHまたはCZ₁=CZ₂を表し、Z₁がHである場合、Z₂は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表す、およびZ₂がHである場合、Z₁は、OH、NH₂、NHMe、NMe₂、OMeおよびOEtからなる群から選択される基を表し、YはNH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、およびO-(CH₂)_n-OHからなる群から選択される基を表し、

nは2～5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEtおよびNEt₂からなる群から選択される基を表す、

または、

(b) XはOを表し、

Yは、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEt、O-(CH₂)_n-OHおよびOMeからなる群から選択される基を表し、

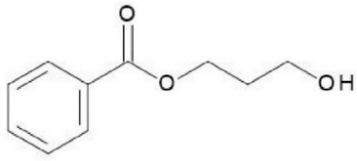
nは2～5であり、かつ

Rは、H、OH、Me、Et、OMe、OEt、NH₂、NHMe、NMe₂、NHEtまたはNEt₂を表す)の化合物もしくはその（薬学的）塩または請求項3もしくは4に記載の混合物の、望まし

くない体臭を抑えるための組成物の製造における使用であって、前記式 (I) の化合物は以下の式：

・安息香酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

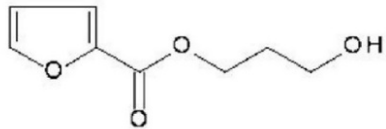
【化 4 8】



(I a)

・フロン酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

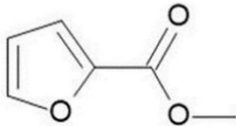
【化 4 9】



(I c)

・フロン酸メチルエステル

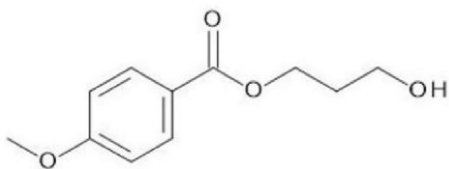
【化 5 0】



(I e)

・アニス酸 - 3 - ヒドロキシプロピルエステル

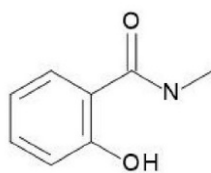
【化 5 1】



(I f)

・N - メチルサリチルアミド

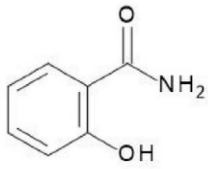
【化 5 2】



(I h)

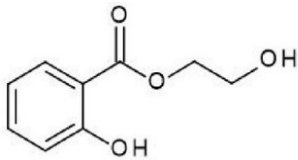
・サリチルアミド

【化 5 3】

(I i)

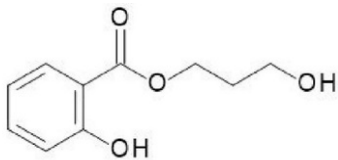
・サリチル酸ヒドロキシエチルエステル、および、

【化 5 4】

(I j)

・サリチル酸ヒドロキシプロピルエステル

【化 5 5】

(I k)

からなる群から選択される、使用。